

令和5年度

全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

調査実施日：令和5年4月18日（火）

英語「話すこと」調査の実施日：令和5年4月18日（火）～5月26日（金）

調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

① 教科に関する調査（国語・算数・数学・英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、基本的生活習慣等、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

※中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒質問紙調査（一部）について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施。

時間割

◎小学校

1 時限目	2 時限目	
国語 (45 分)	算数 (45 分)	児童質問紙 (20～40 分程度) ^{※1}

◎中学校

<英語「話すこと」に関する調査の当日実施校^{※2}の場合>

調査日	1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目
	国語 (50 分)	数学 (50 分)	英語「聞くこと」・「読むこと」・「書くこと」 (45 分)	生徒質問紙 ^{※1} (20～45 分程度)	英語「話すこと」

<英語「話すこと」に関する調査の期間内実施校^{※3}の場合>

調査日	1 時限目	2 時限目	3 時限目	
	国語 (50 分)	数学 (50 分)	英語「聞くこと」・「読むこと」・「書くこと」 (45 分)	生徒質問紙 ^{※1} (20～45 分程度)

文科省指定日

英語
「話すこと」

※1 児童生徒質問紙調査は、教科調査終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。オンライン方式により実施する場合には、ネットワーク環境を考慮して日程分散を行う関係上、必ずしも教科調査と同じ日にならないこともある。

※2 当日実施校：文部科学省が抽出した約500校で4月18日に実施

※3 期間内実施校：当日実施校以外の学校で4月19日～5月26日に実施

全問題については、国立教育政策研究所 HP をご参照ください。

小学校・国語
(令和4年度)

経験を基に考えたことを書く(六年生としてがんばりたいこと)

[illegible]

●出題の趣旨

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。

●正答例

・わたしの文章のよさは、今年がんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後のだん落に具体的に書いたりしたところです。(99 字)

中学校・数学
(令和4年度)

データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること(コマ回し)

7 学級でコマ回し大会をします。この大会では、次の図のようなひもを引いて回すコマを使って一人1回コマを回し、最も長い時間コマを回した人を優勝とします。

大地さんと葉月さんは、コマAとコマBのうち、どちらのコマを使うかを検討することになりました。

(2) 大地さんはコマAを、葉月さんはコマBを選びました。コマを回す練習をしていた葉月さんは、コマを回す高さによって回る時間に違いがあるのではないかと考えました。そこで、次の図のように、1 cmの高さを低位置、10 cmの高さを中位置、20 cmの高さを高位置として、それぞれの位置から20回ずつコマBを回し、コマBが回った時間のデータを位置ごとに集めました。そして、それぞれのデータの散らばりの程度を比較するために箱ひげ図をつくりました。

葉月さんは、前ページの図3の箱ひげ図を比較して考えています。最大値と中央値は、低位置よりも中位置、高位置の方が大きいことから、葉月さんは低位置よりも中位置、高位置の方がより長い時間回ると判断しました。

次に、中位置と高位置の箱ひげ図を比較すると、箱が示す区間は高位置よりも中位置の方が短いことがわかりました。

このとき、箱が示す区間にふくまれているデータの個数と散らばりの程度について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。

イ データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。

ウ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。

エ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。

図3 コマBが回った時間

	最小値	中央値	最大値
低位置	45	55	65
中位置	45	58	70
高位置	40	58	70

●出題の趣旨

箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができるかどうかをみる。

●正答

ア

小学校・算数
(令和4年度)

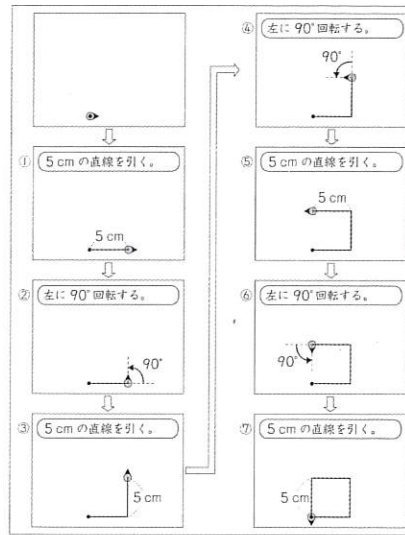
図形の意味や性質を基に図形の構成の仕方を考察すること(プログラム)

4

コンピュータは、いろいろな命令を順序よく組み合わせて動かすことができます。この命令の組み合わせを「プログラム」といいます。
はなこさんは、プログラムをつくり、いろいろな図形をかこうとしています。

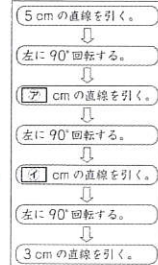
まず、正方形をかきましょう。正方形は、4つの角が直角で、4つの辺の長さが等しい四角形ですね。

1辺が5 cmの正方形をかくために、正方形のプログラムをつくりました。
このプログラムを実行すると、右のように、スタート位置(●)から命令ごとに、●が→の方向に進みながら直線を引いたり、矢印(↶)の向きに回転したりして、正方形をかくことができます。

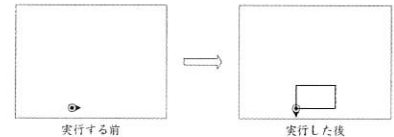


(2) 次に、ひろとさんは、正方形のプログラムの一部を変えて、縦3 cm、横5 cmの長方形をかくために、下のプログラムをつくりました。

長方形のプログラム



長方形のプログラムを実行すると、次のように長方形をかくことができました。



左の長方形のプログラムのア、イに入る数を書きましょう。

●出題の趣旨

図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。

●正答

ア:3 イ:5

中学校・英語
書くこと(平成31年度)

語や文法事項等を理解して正しく
文を書く

9

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×



●出題の趣旨

与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書くことができるかどうかをみる。

●正答例

- ① She is from Australia.
- ② She lives in Rome.
- ③ She doesn't have any pets.

中学校・英語
話すこと(平成31年度)

即興でやり取りをする

2

あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは始めます。

アラン先生が見せている写真



A: Look at this picture of my family.
This is my favorite picture.
Y: Nice! Who is she?
A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.
Y: I see. What kind of work does your mother do?
A: She is a teacher.
Do you have any other questions about them?

●出題の趣旨

聞いて把握した内容について、やり取りすることができるかどうかをみる。

●正答例

What subject does your mother teach?

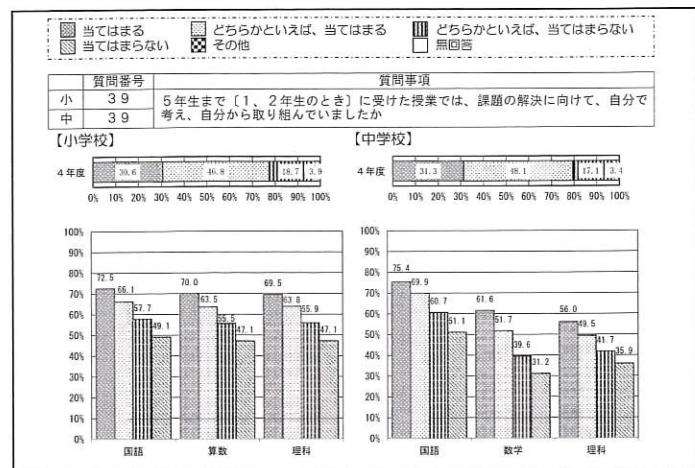
「話すこと」の問題は、ICT 端末を用いたオンライン方式で、音声で録音して解答するものです。

調査結果等の集計・分析・提供

集計・分析

- ◇国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表
- ◇児童生徒の学習環境や生活習慣、学校における指導や教育条件の整備状況等と学力の相関関係を分析、公表

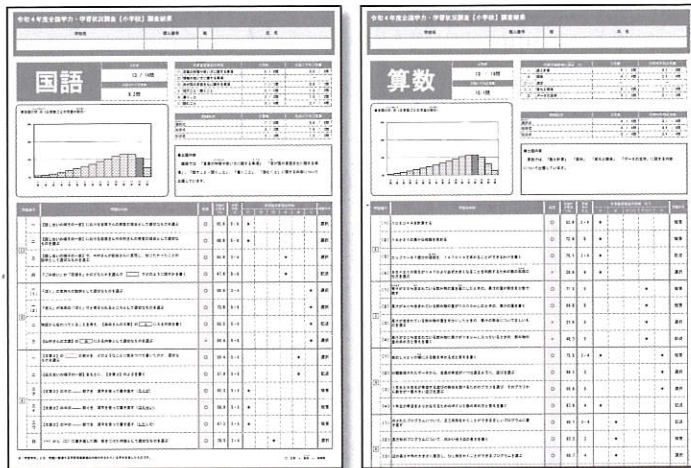
▼公表する調査結果の例



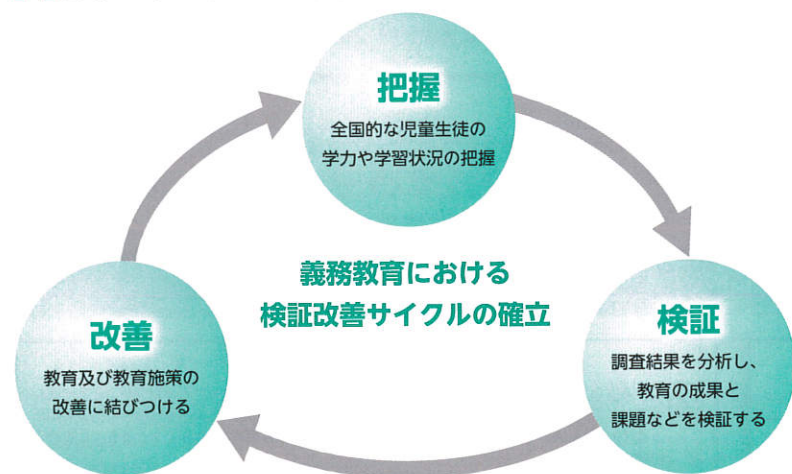
提供

- ◇各教育委員会、学校に以下の調査結果を提供
 - ・児童生徒の正答数分布図
 - ・設問別正答率・無解答率、類型別解答状況
 - ・質問紙調査の結果
 - ・各児童生徒に提供する「個人票」 など

▼「個人票」のイメージ



調査結果の活用



国	教育の改善に向けた全国的な取組を推進 (例) 学習指導要領の改訂、各種施策の検証・改善、教員の配置等への支援、教育委員会や学校における改善の取組への支援 など
教育委員会	域内の教育の改善に向けた取組を推進 (例) 教員の配置等の工夫、教員研修の充実、教育指導等の改善のための資料の作成、保護者や地域と連携した取組 など
学校	個々の児童生徒の課題に応じた教育指導の改善に向けた取組を推進 (例) 課題を踏まえた授業改善の取組、校内研修の充実、家庭における学習習慣や生活習慣の確立に関する保護者への働きかけ、放課後等における補充学習の実施 など

◎全国学力・学習状況調査を活用するための参考資料等

■全国学力・学習状況調査解説資料

調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したもの。

■全国学力・学習状況調査報告書

調査結果を公表するとともに、調査結果を踏まえて学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成したもの。各問題について、解答類型と反応率、分析結果と課題、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述。

次項目の「授業アイデア例」も本報告書に掲載。

■授業アイデア例

各学校において、今後の教育指導や児童生徒の学習状況の改善等に活用できるようにするため、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すもの。

■全国学力・学習状況調査の結果を用いた追加分析

国や教育委員会、学校等の教育活動や、教育施策の一層の改善を図るため、大学等の研究機関の専門的な知見を活用し、高度な分析・検証を行った調査研究の報告書。

(分析例)

- ・家庭の社会的背景と学力の関係に関する調査研究
- ・良好な結果を示した教育委員会・学校における教育施策・教育指導等の特徴に関する調査研究

文部科学省 HP

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/

国立教育政策研究所 HP

<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html>

全国学力・学習状況調査

検索